リーディングDXスクール事業 【実践事例】

湖南市立石部小学校【指定校】

【取組内容】 学習支援ソフトを活用した共同編集の魅力の伝達

①取組の概要

学習支援ソフトの共同編集を活用することで、自分の意見に自信が持てたり、他者の意見を参考にし、新しい考え方に気付くことができたりする児童の姿が多く見られる。そのような学習の実践に取り組んでいる各教員の取組や成果を全体にも広げるために、教員研修を実施している。

下記の取組は6年生 算数科「角柱と円柱の体積の求め方」において他者参照を生かして個人の考えを深め、意図的な交流活動(同じ考えの人との交流、ちがう考えの人との交流)へつなげる取組の一例である。

支援ソフトによる他者参照(6年算数科)

ちがう考えの人とグループになるように、教師が意図的にグループを作成

児童が交流の見通しをもつことができるような環境づくり

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

湖南市立石部小学校【指定校】

②成果と課題

〇他者参照の操作方法や注意事項を丁寧に伝えることで、イメージを持つことができた。各学年部においてグループを作り、取組の成果を他の教員と交流することで、他教科での活用イメージを持つことができた。

〇実際に授業支援ソフトを活用している授業を参観したり、説明を聞いたりすることで「自分でもできるかも」と感じ、ICTを活用する教員の姿が増えてきた。これは、お互いに授業実践を共有し、伝達してきた成果であると考える。

〇実践を交流することで、他の教員の新たな取組につながった実践

自分の意見をまとめる姿

キーワード集計を活用する姿

活発な意見交流をする姿